

はつらつ
ところざわ

直接会って話すこと、それが心と心をつなぎます



はっかく あきえ
八角 朱恵さん（北有楽町在住）

国際交流フォーラム実行委員。中国・上海出身。同実行委員会の他、市の外国人生活相談員としても活動中。

フォーラムの詳細は本号 7 面、市報（Q国際交流）をチェック！



◀10年前、国際交流フォーラムで総司会を務めた時の八角さん。母国語ではない日本語での司会を頑張りました。



4,748人。これは、所沢市内に住んでいる外国人の数です（平成29年1月末現在）。「実は、所沢には多くの外国人が住んでいるのですが、普段の生活の中で触れ合うことのない人も多いかもしれませんね。でも、所沢には年に一度、所沢に住む外国人と日本人が交流できる、国際交流フォーラムというとても良いイベントがあるんですよ」と語る八角朱恵さんは、実行委員として国際交流フォーラムを支えている唯一の外国人です。

中国・上海出身の八角さんは、中国の中学校で国語教師をしていた27歳の時、初来日。日本人男性と結婚して日本での生活がスタートしました。「今まで所沢・川越・狭山市などの国際交流事業に携わってきましたが、始まりは、所沢市の姉妹都市通訳の依頼を受けたことでした。その後、所沢に越したことで、本格的に所沢市の事業に携わりはじめました。国際交流フォーラムも第1回から参加し、今まで4回、総司会をさせていただいたこともあります。当時は、今ほど日本語が上手ではなく、一生懸命原稿を暗記しました。何百人もの前で母国語ではない言葉で話すのはとても緊張しましたが、成功してうれしかったです」と、外国人参加者ならではの体験を語ってくれました。

平成8年から始まった国際交流フォーラムは、毎年、実行委員会が企画を考え開催しています。その中で、八角さんは外国人目線の意見を積極的に提案しています。「外国人が意見を言える環境があることが大切だと思います。外国人の私も自由に発言できてありがたいです。当たり前のことですが、文化が違えば考え方も違います。活動の中で、日本人との考え方の違いに直面する場面もありますが、互いの文化を知るきっかけになっていると思います。まさに国際交流です」とにこやかに笑います。

「国際交流というと難しく感じるけれど、直接会って話すことが、互いを理解するために大切なこと。国際交流フォーラムに参加すると、人と人の交流、心と心がつながるためには、互いの言葉や文化、年齢は関係ないんだということが実感できるはず。相手の良いところを知って、自分の良いところも知ってもらえる国際交流フォーラムは、知らない人同士が仲良くなるチャンス。外国人、日本人関係なく、ぜひ、多くの人に遊びに来てほしいです」

今年の国際交流フォーラムは3月19日(日)。きっとそこには、新しい世界、新しい友達、新しいあなた自身が待っています。（取材：佐々木）

今月のプレゼントクイズ！

忙しい年度末、お疲れのあなたを癒やします

頭皮ストレス解消！ヘッドスパ1時間コース (6,500円相当×5人)

忙しい毎日の中で、顔の肌荒れと同じように疲れがあらわれるのが頭皮。&g HAIR&MAKEのヘッドスパは、一人一人の頭皮の状態に合わせて7種類の薬剤を使い分けながら、頭皮を癒やします。路地裏にたたずむ店舗は、喧騒を離れ、ほっと一息つける空間です。さあ、あなたも日常の慌ただしさを忘れて、疲れを癒やしに行ってみませんか？



●&g HAIR&MAKE
(アンジーヘア&メイク)
日吉町17-13
☎2936-6288

▲店内は2席のみ。周囲を気にしなくていい、ゆったりとしたアットホームな雰囲気も男性にも人気です。

◆今月のクイズ

8・10・11面のクイズを解き、空欄に入る文字を順番につなげると？

◆応募方法（3月12日(日)締め切り・消印有効）

①クイズの答え②郵便番号③住所④氏名⑤年齢⑥電話番号⑦3月号の感想を記入し、〒359-8501広報課に郵送・市報（Qプレゼント）で応募

◎当選者の発表は、引換券の発送をもって代えさせていただきます。

◆プレゼント提供事業者も募集中！

詳細は、市報（Qプレゼント募集）をご覧ください。



読者感想文

●まちづくりセンターは証明書などを取りに行くくらいでしたが、地域情報コーナーなどを見て、もっと活用してみようと思います（山口・40代女性）

●便利な情報は知りたいですが、忙しくて公民館などに足を運ぶ機会がない人も多いはず。ネットから簡単に閲覧できるといいと思います（小手指台・40代男性）

編集から●生活の場である地域独自の情報は、まちづくりセンターに集約されています。まちセンの公民館イベントなどは市報（Q公民館）をチェック！すてきなイベントに出会えるかもしれません。

●未来館に行ってきました。1階のパン屋さんを特集してほしいです（けやき台・40代女性）

編集から●早速、未来館に行かれたとの感想、ありがとうございます。本号特集（3面）で、1階にあるテミカフェさんも取材させていただきました。ぜひ、ご覧ください。

●写真や人のコメントが多くて、読みたい気持ちになりました（並木・10代女性）

編集から●ありがとうございます。写真などを増やし、目につくことで「読んでみようかな」と思える紙面作りに努めています。

編集後記

広報ところざわ11月号が、平成29年全国広報コンクール埼玉県審査で1席に輝きました！これは、高校野球で言うと県大会準優勝。惜しくも甲子園（全国大会）には進めませんでした。市の数が日本一多い埼玉県で2位を獲得できたのは大変名誉なことです。リニューアル以降、多くの市民の方に登場いただいたことが評価されたと思っています。今後も読者の皆さんに寄り添った紙面作りに取り組んでいきますので、引き続きご愛読ください（編集一同）

広報ところざわが 県内第2位に！

